

公益社団法人 日本 3 B 体操協会  
平成 24 年度 (5 月～12 月) 事業報告書

I 法人の概況

1 設立年月日 平成 24 年 5 月 1 日

2 定款に定める目的

この法人は、3B体操の普及を図ることで、国民の健康意識の向上と心身の健やかな生活を推進すると共に、スポーツの振興に寄与することを目的とする。

3 定款に定める事業内容

この法人は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 乳幼児から小中学生、その父母のスポーツ実践と体力向上・健康増進の為の 3 B 体操の指導と支援
- (2) 成人の疾病の予防と、健康な社会生活推進の為の 3 B 体操の指導と支援
- (3) 高齢者・障がい者の安全な日常生活と健康寿命を伸ばす為の 3 B 体操の指導と支援
- (4) 3 B 体操指導者の養成と技能の向上を図る教育
- (5) 3 B 体操教室の成果と運営に関する調査・研究
- (6) 健康・スポーツ団体との交流と連携
- (7) その他、この法人の目的達成の為に必要な事業

2 前項の事業は日本全国において行うものとする。

4 所管官庁に関する事項

内閣府

5 社員・指導者会員・登録会員推移

年度	社員 1.1 現在	指導者会員					登録(一般)
		会員数 1.1 現在	入会	復活	休会	退会	会員 12.31 現在
2008 (H20)	42	2,392	189	-163 (2009/1/1 付処理の復活 5、休会 19 含む)			327,442
2009 (H21)	41	2,418	170	16 (内 3 は 2010/1/1 付)	-144 (内 14 は 2010/1/1 付)	-15	320,236
2010 (H22)	40	2,445	239	16 (内 3 は 2011/1/1 付)	-150 (内 17 は 2011/1/1 付)	-4	329,044

2011 (H23)	41	2,546	290	25 (内7は2012/1/1付)	-168 (内15は2012/1/1付)	-7	322,688
2012 (H24) (1~4月)	48	2,686	45	4	-76 (内6は2012/5/1付)	-3	169,427
2012 (H24) (5~12月)	*39	*2,656	204	18 (内5は2013/1/1付)	-90 (内9は2013/1/1付)	-6	289,574

\* 5月1日現在の人数です。

## 6 主たる事務所

主たる事務所：大阪府大阪市都島区中野町三丁目5番3号

## 7 役員等に関する事項

役 職	氏 名	常勤・非常勤の別	担当職務・現職
代表理事	田中 み代	常 勤	代表
業務執行理事	端谷 文江	常 勤	総務総括
理 事	森下 はるみ	非常勤	お茶の水女子大学名誉教授
理 事	長谷川 好子	非常勤	
理 事	熊瀬 多恵子	非常勤	
理 事	佐藤 明美	非常勤	
理 事	木幡 眞由美	非常勤	
理 事	中村 伸子	非常勤	
理 事	渡部 けい子	非常勤	
理 事	小山 朋江	非常勤	
監 事	菊地 靖	非常勤	公認会計士
監 事	三島 初子	非常勤	

## 8 職員に関する事項

職員数		前期末比増減	平均年齢
男 子	0名	0名	歳
女 子	7名	0名	47歳
合計又は平均	7名	0名	47歳

## 9 承認可に関する事項

該当なし

## II 事業の状況

### 1 事業の実施状況

平成 24 年度 指導者・指導士認定・教育事業報告  
(平成 24 年 5 月～平成 24 年 12 月)

- ・ 3 B 体操指導者の養成と技能の向上を図る教育（第 4 条 第 1 項 4 号）

指導者の養成及び指導技術の向上を目的とする

#### ① 指導者検定

各地区毎に全国で計 47 回、指導者養成数は計 204 名

地区	北東北	東北	関東	北関東	新潟	静岡	北陸	
回数	2	2	6	2	1	1	1	
人数	7	11	46	18	5	3	14	
地区	中部	関西	北関西	山陰	四国	中国	九州	計
回数	4	5	3	1	5	4	10	47
人数	7	20	7	3	13	10	40	204

#### ② 指導士検定

各地区毎に全国で計 5 回、指導士養成数は計 36 名

地区	北東北	東北	関東	北関東	新潟	静岡	北陸	
回数	1	0	0	0	0	0	0	
人数	9	0	0	0	0	0	0	
地区	中部	関西	北関西	山陰	四国	中国	九州	計
回数	0	1	1	0	1	0	1	5
人数	0	4	2	0	6	0	15	36

#### ③ 指導者・指導士に

- ・ 支部単位での指導者研修会 毎月 5 時間以上
  - ・ グループでの指導者勉強会 3 時間以上
  - ・ 指導士に研修会の事前研修 (3 時間)
- } 合計 4,476 回参加者延べ 56,799 名で実施

地区	北東北	東北	関東	北関東	新潟	静岡	北陸	
回数	273	299	854	520	144	102	256	
人数	2,494	3,216	8,076	5,610	1,760	1,596	3,096	
地区	中部	関西	北関西	山陰	四国	中国	九州	計
回数	244	370	29	102	261	159	863	4,476
人数	4,468	5,934	1,181	2,940	2,211	3,061	11,156	56,799

④ 指導士研究会

各地区・支部及びグループ毎に年1回、合計26回参加者868名で実施。

指導士が指導者養成コースをいつでも担当できるように研修を行う。又、どうすれば各々の教室受講者より指導者を養成出来るかを一番のテーマとし、支部、グループ運営全般について積極的に展開していく為の協議等を行う。

地区	北東北	東北	関東	北関東	新潟	静岡	北陸	
回数	1	1	7	4	0	1	2	
人数	58	95	183	80	0	21	63	
地区	中部	関西	北関西	山陰	四国	中国	九州	計
回数	0	1	1	1	1	0	6	26
人数	0	19	24	52	71	0	202	868

⑤ 検定勉強会

指導士・指導者検定を担当する者への 研修・教育

指導者養成コースを担当する者への実技・理論等の勉強会

- ・ 4地区8回111名
  - ・ 22支部104回1,475名
- } 合計112回参加者1,586名で実施

⑥ その他の勉強会

指導者の指導力の向上と教育を目的とした勉強会

- ・ 2地区3回77名
  - ・ 8支部16回286名
- } 合計19回参加者363名で実施

⑦ 指導士お世話役会議

- ・ 2地区4回30名
  - ・ 12支部79回834名
- } 合計83回参加者864名で実施

平成 24 年度 調査・研究事業報告  
(平成 24 年 5 月～平成 24 年 12 月)

・ 3 B 体操教室の成果と運営に関する調査・研究 (第 4 条 第 1 項 5 号)

- ① 各分野で活発に活動されている他団体のリーダーの方々との意見、情報交換
- ② その他 各年代の健康問題に関する調査、研究等
- ③ 地区毎の課題と問題解決の為の調査・研究のチーム作り

④ 調査

- ・ 広域スポーツ人材の活用実践支援事業「中学校ダンス教室」指導者育成事業(東北地区)  
平成 24 年 10 月～福島県内の中学校 7 校にて生徒約 830 名参加で中学校ダンス教室を実施。授業終了後の勉強会は福島県支部指導者 23 名参加で実施。

【目的】

教育基本法の改正に伴い、福島県教育庁より福島県内 7 校からダンス教室への指導者派遣依頼があり、今後も更なる広がり期待できそうであるが、今までの 3 B 活動では縁の薄い年代であるため、対応できる指導者の育成が必要とされる。また、中学校及び中学生の現状把握が必要であり、情報収集も図る。

【内容】

事前打合せ、勉強会を設け、授業終了後にそれぞれの報告をまとめ、検討し合い勉強を重ねる。各校の授業内容の報告などを基に、今後活かせる資料を作成。

【成果】

各校の事情により授業の組み立てが様々ではあったが、概ね意欲的に取り組み楽しんでもらった。中学生の覚えの速さに追われながらも、思春期の多感な年代だからこそ、無心にダンスのリズムに乗せて体で表現する楽しみを知ってほしく、この授業がその入り口となれるよう内容の充実化が要求される。

外部指導者で初科目の為か、学校側も注目しており、他科目と違った生徒の反応に驚きを示していた。既に来年も当協会への委託を示す学校もあり、次年度の広がり期待が持てる。

- ・ クラシック 3 B 実技調査 (九州地区)

5 月 3 日(木)～10 月 31 日(水)九州地区本部にて合計 5 回参加者 14 名で実施

【目的】

3 B 体操発祥の地九州に出来ることとして、健康体操として効果の高かったクラシック実技を掘起し、次世代指導者に活用できるように、わかりやすい実技解説書と DVD を作成し保存する。

【内容】

3 B 体操初期時代に創作され行われていた実技の中から、簡単ですぐに使用できそうなものを選び、効果・目的を加筆して、指導者のスキルアップや教室の活性化に繋がる様まとめる。

### 【成果】

初期時代に行われていた実技が簡単で効果もあったことが体験、実証できた。  
指導者の指導力や指導域・プログラムの幅が広がり、より幅広い層の人々の健康づくり、普及活動に役立てる事ができた。

### 【今後の取組】

どんな場面にでもすぐに対応できるように、自身やグループでの勉強会を重ねて、更にスキルアップできるように実践する。  
今回取り上げた以外の実技も、もっと体験したいとの多くの声があがり機会があれば第2弾も考えたい。

## ⑤ 外部講師依頼勉強会

### ・ 身体機能向上のためのコンディショニング指導実践（関東地区）

9月14日（金）10：00～17：00 浦安市運動公園総合体育館にて161名参加で実施

#### 【目的】

健康運動実践指導者・健康運動指導士の資格を持つ全国の指導者へ参加を呼びかけ、健康運動実践指導者登録更新認定講習会として、指導者の身体機能向上を図り、これからの活動にコンディショニングを活かしていく。

#### 【内容】

- ・ 身体のチェックと留意点（体力測定と評価）
- ・ 自体重を活かしたレジスタンストレーニング（健康づくり運動の実際）
- ・ 運動プログラムの作成と実践指導

#### 【成果】

公益財団法人健康・体力づくり事業財団の登録更新講習会認定事業として当協会が初めて取り組んだ。内容に指導者の資質向上を図るコンディショニングを取り上げたことで、指導者の資質向上に繋がった。

#### 【今後の取組】

コンディショニングを勉強できたことで、不良姿勢を認識し、改善方法などを考えながら、より良い3B体操の指導現場に生かせるようにしていきたい。又、平成25年度も更に深く勉強する講習会に繋げる。

### ・ グラハムテクニック勉強会（関東地区）

5月31日（木）、9月27日（木）、11月22日（木） 13：30～17：00

関東地区本部にて合計3回参加者延べ33名で実施

#### 【目的】

フラットバックの指導者が多く見受けられる現状から、骨盤と脊柱の動かし方をグラハムテクニックから学び、骨盤と脊柱の矯正と強化をはかる方法を研究し、そのテクニックを用具体操に活かせるように研究する。

#### 【内容】

グラハムにおけるストレッチングと座位における骨盤と股関節の強化プログラムの体験学習

**【成果】**

呼吸に即応した筋肉や背骨の「コントラクション&リリース」によるグラハムテクニックは深く、来年度に向けて少し踏み込んだ「フロアー・ムーブメント」が必要と課題が残った。

**【今後の取組】**

平成 25 年度も継続してグラハムテクニック勉強会を実施し、ビューティーアップ実技に生かしていく。

・ ヒップホップでスキルアップ（北関西地区）

5月～11月の月1回八木スポーツフォアオールにて合計7回参加者114名で実施

**【目的】**

ヒップホップという異なる分野で活躍されている富貴正弘先生に講師を依頼し、受講することにより指導者のスキルアップを図る。

**【内容】**

ヒップホップ実技講習

**【成果】**

リズムの取り方やステップなどヒップホップ独特で新鮮な実技の講習を受けることにより、大いに刺激を受け、指導者のスキルアップに繋がった。

**【今後の取組】**

来年度も3月～11月の間に7回実施予定。

・ 3B体操指導者研修会（山陰地区）

12月2日（日）古志スポーツセンターにて参加者61名で実施

**【目的】**

高齢者の身体的特徴を理解し、効果的な運動指導及び注意点について学び、3B体操の普及活動に生かす。子どもの発育段階に必要な運動遊び及び注意点について学ぶ。

**【内容】**

「発育、発達、老化と運動」と題して筑波大学教授白木 仁先生による講演及び実技

**【成果】**

高齢化している教室運営を見直し、介護予防、転倒予防などの要請に対応できる指導力の必要性を認識し、実際に指導する際のポイント及び伝え方を教室活動に活かすことができた。今後も継続的に学習する機会を計画していきたい。

**【今後の取組】**

高齢化地域に早急に求められている介護予防、転倒予防を目的に運動指導できる団体として行政、地域にアピールしていく。子育て支援の一環として知識をもった上で運動指導ができる3B指導者をアピールしていく。

・ 指導者対象講習会（四国地区）

7月8日（日）12：00～15：00 川之江市民体育館剣道場にて78名参加で実施

【目的】

高齢者の健康づくりを推進していくにあたり、外部講師に依頼し、体幹のより深い知識を修得していく事で、これからの活動に活かしていく。

【内容】

コア（体幹）の安定化の確立を目的としてコア・コンディショニングにおけるPNFテクニックの実践と応用

【成果】

指導者からアンケートを取りコア（体幹）の安定化の理論と実践の勉強会を行った。日頃3B体操で行われている動きが随所にあり、今後自信を持って普及活動を進める事が出来る。

【今後の取組】

「転倒予防と改善の為にPNFコンディショニング」「筋機能改善の為にストレッチング」を勉強し、3B体操における動きを確認する。

平成24年度 子育て・ジュニア支援事業報告  
(平成24年5月～平成24年12月)

・ 乳幼児から小中学生、その父母のスポーツ実践と体力向上・健康増進の為に3B体操の指導と支援（第4条 第1項 1号）

運動を通して子育て支援を行い、地域での拠点（教室等）の拡大を目指す  
親子のふれあいを通じ、ゆとりある良好な親子関係をサポートする  
ジュニアの子ども達の心身共にすこやかな成長と社会性を育てることを目的とする

① 子育て・ジュニア支援協会助成事業

子育て・ジュニア分野の普及を目的に講習会を実施し、協会より助成を行った。  
(別紙、報告書あり)

・ 子育て支援講習会

合計76回参加者総数1,256組2,982名で実施。協会より583,520円助成。

・ ジュニア支援講習会

合計70回参加者総数2,237名で実施。協会より496,340円助成。

【成果】

合計146回の講習会を実施したうち61回に教室開設などの成果があった。その他、今回の講習会では教室開設などに繋がらなかったが、多くの方々に3B体操を体験して頂く事で体を動かす楽しさや必要性を感じて頂けた。今後期待しつつ、来年度も実施する。

	教室開設	講座依頼	会員増加 (既存教室 への入会)	講座の 前向きな検討	合計
子育て支援	11	7	10	4	32
ジュニア支援	17	8	2	2	29
合 計	28	15	12	6	61

## ② 復興支援行事

- ・ 東日本大震災復興支援チャリティー第5回ジュニア3B関東大会(関東地区)

7月7日(土)浦安市運動公園総合体育館にて参加者3,728名で開催。

会場の皆様よりの支援金201,105円と大会運営費より100万円の義援金を浦安市へ贈呈。

## ③ 地区・支部主催 無料体験会

親子(ベビーとお母さんも含む)で行う3B体操では、子どもには「遊び」を中心とした3B体操で楽しく体を動かすことを体験させ、親には身体への効果を実感してもらい、運動継続の重要性理解の機会づくりとする。ジュニアの子どもには体力づくりと他者とのふれあいによる社会性を育てることを目的とする。

- ・ 3地区 194回 4,144名
  - ・ 21支部 551回 9,646名
- 合計 745回参加者 13,790名で実施

## ④ 支部主催 有料体験会

7支部 37回参加者 1,302名で実施

## ⑤ 行政他外部団体主催 無料講習会

- ・ 3地区 24回 1,276名
  - ・ 26支部 666回 25,489名
- 合計 690回参加者 26,765名で実施

## ⑥ 行政他外部団体主催 有料講習会

10支部 208回参加者 7,915名で実施

## ⑦ 大会及びつどい

地域住民の親子、ジュニア・父・母に参加を呼びかけ親子・ジュニア会員共々行う

- ・ 4地区 8回 4,007名
  - ・ 9支部 17回 4,713名
- 合計 25回参加者 8,720名で開催

⑧ 勉強会

対象者への理解、ジュニア対象実技の習得、普及の仕方や教室運営等の勉強会

- ・ 2 地区 4 回 40 名
  - ・ 20 支部 41 回 1,211 名
- } 合計 45 回参加者 1,251 名で実施

⑨ 行政他外部団体主催イベント

- ・ 4 地区 9 回 983 名
  - ・ 20 支部 49 回 4,503 名
- } 合計 58 回参加者 5,486 名で参加

平成 24 年度 成人・ファミリー支援事業報告  
(平成 24 年 5 月～平成 24 年 12 月)

- ・ 成人の疾病の予防と、健康な社会生活推進の為に 3 B 体操の指導と支援 (第 4 条 第 1 項 2 号)
- ・ 健康・スポーツ団体との交流と連携 (第 4 条 第 1 項 6 号)

幅広い年齢層の対象者に対し、運動とその啓発を通して健全な心身を保つための事業を展開

① 第 67 回国民体育大会 ぎふ清流国体開会式

9 月 29 日 (土) 岐阜メモリアルセンター長良川競技場にて総合開会式が開催され、岐阜県支部の会員・指導者を中心に 560 名が参加。

当日は 3 B 体操用具 (ベル・ベルター) を生かし躍動感ある演技が表現でき、岐阜県下、各都道府県の選手、大会役員関係者に 3 B 体操をアピールする事が出来た。又、岐阜テレビでも放映され県内の会員の皆さんや行政の方々にも反響があり、可児市、各務原市の行政から講座依頼を頂けた。これからも健康づくりの輪を拡げ、地域の皆様の生涯スポーツの推進に力を注いでいきたい。

② 第 66 回全国レクリエーション大会 3 B 体操全国交流大会 福井県坂井市

9 月 23 日 (日) 福井県坂井市三国体育館にて、3 B 体操全国交流大会を 1,172 名参加で開催。午前の部は、一般参加者、園児、児童による体験講習会。午後の部は各地区の会員、指導者による発表タイム。

大会後は幼稚園、子育て支援センターからの講座依頼が増加しており、指導者養成や親子、ジュニア教室の開設に繋げていきたい。

③ 公益社団法人日本 3 B 体操協会 創立 40+1 周年記念大会

東日本大震災の復興を祈念し、東北地区、岩手県にて創立 40+1 周年記念大会を開催。

東北大会は 7 月 28 日 (土) 宮城県総合運動公園グランディ 21 セキスイハイムスーパーアリーナにて 4,468 名、岩手大会は 8 月 4 日 (土) 花巻市総合体育館にて 918 名、参加者総数 5,386 名。一般参加者と会員が一堂に会し、交流を持てたことでお互いの元気な姿にふれ、改めて 3 B 体操の素晴らしさを感じて頂けた大会となった。

#### ④ 災害地復興支援事業

北東北・東北・関東地区にて災害地復興支援としての取組へ協会より助成を行った。

(5年計画、本年度2年目)

##### ・公益社団法人日本3B体操協会 創立40+1周年記念大会

東北大会では被災地の方を大会へ招待し、その交通費、弁当代を協会より助成。  
岩手県大会では沿岸部からの参加者の交通費と弁当代、参加者への記念品代を協会より助成。

##### ・ボランティア活動支援事業(北東北地区)

通年を通して岩手県大船渡市、陸前高田市にてボランティア支援活動を行う。  
参加者総数 862 名。

###### 【目的】

地域の交流や介護予防の場として市内各地域で開催している「お茶っこ飲みサロン」にて仮設住宅や地域の方々の日頃の運動不足解消を目的に支援を行う。

###### 【内容】

陸前高田の指導者2名が大船渡、陸前高田の仮設住宅やコミュニティセンター、社協等の会場で3B体操講習会を実施する。又、支援物資配布等も行う。

###### 【成果】

「お茶っこ飲みサロン」での3B体操の様子をかわら版や広報紙で取り上げてもらえ、多くの人に3B体操を知ってもらえた。そのお蔭で講座依頼も増えた。

###### 【今後の取組】

仮設住宅での生活がまだしばらく続くと思われるので、3B体操を楽しみに待っていて下さる方々と一緒に体や頭そして心を動かし、楽しみながら運動不足の解消に役立てて頂けるようお手伝いしていきたい。

次年度も引き続き「お茶っこ飲みサロン」より要請を頂いている。学童クラブの子ども達とも月2回体操を行う。一日も早く心から笑える日が来る事を願い、復興支援を続けていきたい。

##### ・ボランティア活動支援事業(東北地区)

通年を通して、東北地区3県においてボランティア活動支援を行う。

合計 240 回参加者総数 2,888 名。

###### 【目的】

東日本大震災と福島原発の事故により、壊滅的な被害を受けて避難生活を余儀なくされている多くの人々や、放射能問題から屋外活動の制限を強いられている人々(特に子ども達)にとって、心のケアと健康・体力の低下が深刻な問題となっている。又、指導者自身も多数が被災者となっている。

この大事な時こそ、先ず被災地の指導者が連携し、元気な姿で仮設住宅地域や子ども達に3B体操を運ぶことで、被災者の健康回復と維持管理に尽力しつつ信頼関係を深め、助け合うことを目的とする。

###### 【内容】

仮設住宅の拠点(仮役場を通じて)での定期・単発の3B体操講習会  
屋外活動の問題を抱えた福島県民に対する3B体操講習会

## 【成果】

当初は避難所、現在は仮設住宅などを中心に活動しているが、不自由で慣れない生活が長引くほどに高齢者の健康状態が懸念される(特に冬場)為、腰を据えた活動が求められてきている。

活動が定着してきた仮設では、笑いも多くなり楽しみに待っていてくれる方もいるが、まだまだ仮設に籠ってしまう高齢者にどのように働きかけるかが課題である。通常の教室活動が再開された現在、活動時間的にかなり厳しい面があるが、指導者同士の協力体制で可能な範囲での活動続行が必要とされている。

福島県行政側も子ども達の体力低下傾向に危惧し、対策の一環として日頃の3B活動に着目して頂いており、小学校及び中学校の授業に組み入れて頂ける所も出てきた。

### ・ 双葉町復興支援事業 (北関東地区)

#### 【目的】

原発被害により福島県双葉町より避難され、埼玉県立加須高等学校で生活をされている方々を対象に10月～12月合計7回参加者総数50名で、埼玉東部グループの指導者が訪問し、ボランティア活動支援を行う。

#### 【成果】

避難所での不便な生活だからこそ、体を動かすことにより少しでも体力維持をはかり、レクリエーションとして3B体操を楽しんで頂きたいと去年は27回訪問。

皆さんの生活もそれぞれ落ち着きはじめ、活動に一区切りとして終了していた。今秋、再び様子を伺いに訪問。ボランティアも住民も減り、今もなお不自由な共同生活を強いられている高齢者の方々が元気になって頂けるようボランティア活動を再開した。3B体操指導者が伺うことを心待ちにして頂いており、今後も心と体のケアを継続していく。

- ⑤ 地区・支部主催 無料体験会
  - ・ 2地区 161回 1,896名
  - ・ 24支部 882回 7,388名 } 合計 1,043回参加者 9,284名で実施
  
- ⑥ 支部主催 有料体験会  
6支部 18回参加者 943名で実施
  
- ⑦ 行政他外部団体主催 無料講習会
  - ・ 2地区 21回 360名
  - ・ 20支部 300回 8,665名 } 合計 321回参加者 9,025名で実施
  
- ⑧ 行政他外部団体主催 有料講習会  
6支部 132回参加者 2,702名で実施

⑨ 大会及びつどい

一般市民及び一般会員を対象に行う

- ・ 2 地区 3 回 2,662 名
  - ・ 26 支部 65 回 14,623 名
- } 合計 68 回参加者 17,289 名で開催

⑩ 行政他外部団体主催イベント

- ・ 2 地区 3 回 1,067 名
  - ・ 32 支部 98 回 17,103 名
- } 合計 101 回参加者 18,170 名で参加

平成 24 年度 高齢者・障がい者支援事業報告 (平成 24 年 5 月～平成 24 年 12 月)
---

・ 高齢者・障がい者の安全な日常生活と健康寿命を伸ばす為の 3 B 体操の指導と支援

(第 4 条 第 1 項 3 号)

運動を通して心身ともに自立した生活を行うための支援を行い、健康で美しく歳を重ねるの実践を目指す

障がい者の方だけでなく、そのサポートをしている方達の心身の健康を考慮した支援を行う

① 地区・支部主催 無料体験会

- ・ 1 地区 16 回 288 名
  - ・ 6 支部 81 回 1,239 名
- } 合計 97 回参加者 1,527 名で実施

② 行政他外部団体主催 無料講習会

- ・ 1 地区 4 回 220 名
  - ・ 22 支部 666 回 16,222 名
- } 合計 670 回参加者 16,442 名で実施

③ 行政他外部団体主催 有料講習会

6 支部 233 回参加者 4,806 名で実施

④ 勉強会

高齢者ではクラス別対象者への理解、クラス別実技の習得、教室運営、行政その他より依頼の講習会・体験会等の勉強会

障がい者では対象者への理解、障がい児対象の実技の習得、教室運営等の勉強会

- ・ 4 地区 13 回 383 名
  - ・ 13 支部 23 回 506 名
- } 合計 36 回参加者 889 名で実施

⑤ 行政他外部団体主催イベント

8 支部 20 回参加者 1,878 名で参加

平成 24 年度 共 通  
(平成 24 年 5 月～平成 24 年 12 月)

3 B 体操の全事業を実施するための方針の決定、企画検討、実施のための各種打合せ等の会議を行う

① 教室数

詳細は「地区別対象別教室・講座・受講者数一覧」参照

平成 24 年 4 月末教室数 9, 511 教室 (内 新開設 27 教室)

平成 24 年 12 月末教室数 9, 770 教室 (内 新開設 259 教室)

(内訳)

対象別	ベビーとお母さん	親子	ジュニア	成人女性	高齢者	障がい者	その他	計
24 年 4 月末	210	635	625	6,168	1,502	188	183	9,511
比率	2%	7%	7%	64%	16%	2%	2%	100%
24 年 12 月末	181	659	653	6,311	1,560	192	214	9,770
比率	2%	7%	7%	64%	16%	2%	2%	100%

② 定例会

理事・地区代表者による定例毎月 1 回の運営打合せ会議を実施

③ 地区代表者会議

大阪市都島区 3 B 体操会館にて 2 回実施

オールエイジを対象とする当協会の普及活動上、スピーディーな情報交換と伝達は不可欠となっている。

	実施日	参加者数
第 1 回	7 月 3 日(火)	30 名
第 2 回	12 月 4 日(火)	30 名

④ 事業拡大の為の拠点づくり

更なる 3 B 体操公益事業拡大のための拠点づくり計画に着手

現在の進捗状況(平成 24 年 12 月末現在)

地区	購入建設地・予定地	進捗状況
北東北	岩手県盛岡市	平成 24 年 11 月 引越し済
東北	福島県福島市	平成 24 年 6 月 完成・引越し済
関東	東京都墨田区又は江東区	検討中
静岡	静岡県静岡市	検討中

北 陸	富山県高岡市	建設中 平成 25 年 3 月完成予定
中 部	愛知県名古屋市	検討中
関 西	兵庫県尼崎市	平成 24 年 4 月 完成・引越し済
四 国	愛媛県四国中央市	平成 24 年 12 月 完成
山 陰	島根県松江市	平成 23 年 11 月 引越し済
中 国	広島県福山市	平成 24 年 9 月 完成・引越し済
九 州	福岡県福岡市	平成 23 年 11 月 完成・引越し済

⑤ 運営会議

地区運営会議	13 地区 118 回 811 名	} 合計 442 回参加者 2,532 名で実施
支部運営会議	35 支部 324 回 1,721 名	

⑥ 地区会議

地区スタッフ・支部長・各セクション担当者での会議を全国 87 回参加者 1,190 名で実施

⑦ 支部会議

支部長・グループ長・各セクション担当者での会議を全国 425 回参加者 4,795 名で実施

⑧ その他の会議

2 地区 2 回参加者 37 名で実施

会計関係

① 地区・支部会計打合せ会議

・ 13 地区 53 回 361 名	} 合計 159 回参加者 756 名で実施
・ 32 支部 106 回 395 名	

広報関係

① 公益社団法人 日本 3 B 体操協会機関紙 3 B ライフの編集・発行  
毎月（本部に於いて） 月間平均 60 ページ

② 広報編集会議

各地区に於いて 3 B ライフ掲載の地区原案、地方紙の編集と発行を行う

・ 9 地区 64 回 332 名	} 合計 128 回参加者 642 名で実施
・ 20 支部 64 回 310 名	

平成 24 年度 3 B 用品等販売事業報告  
(平成 24 年 5 月～平成 24 年 12 月)

・その他、この法人の目的達成の為に必要な事業(第 4 条 第 1 項 7 号)

体操に必要な用具・ウェア等を取り扱う事業

① ブロック用品会議

販売促進の為に協議・商品紹介や発注の為に業者との打合せ・各地よりのイベント関連商品や 3 B オリジナル用品の発注等の会議

全国を 6 つに分け合計 12 回参加者 695 名で実施

地区名	実施日	会 場	参加者数
北東北・東北地区	5 月 23 日(水)	花巻市総合体育館	67 名
	11 月 20 日(火)	東北地区本部	48 名
関東地区	5 月 22 日(火)	関東地区本部	57 名
	11 月 19 日(月)	関東地区本部	59 名
北陸・中部地区	5 月 20 日(日)	石川県金沢勤労者プラザ	30 名
	11 月 18 日(日)	名古屋市露橋スポーツセンター	49 名
関西・北関西地区	5 月 19 日(土)	関西地区本部	85 名
	11 月 17 日(土)	関西地区本部	72 名
山陰・四国・中国地区	5 月 26 日(土)	丸亀市生涯学習センター	36 名
	11 月 24 日(土)	中国地区本部	41 名
九州地区	5 月 25 日(金)	九州地区本部	73 名
	11 月 23 日(金)	九州地区本部	78 名

② 地区・支部用品会議

ブロック用品会議の内容を各地区・支部へ伝達する

- |   |   |                        |
|---|---|------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10 地区 29 回 640 名</li> <li>・ 31 支部 120 回 1,346 名</li> </ul> | } | 合計 149 回参加者 1,986 名で実施 |
|---|---|------------------------|

③ ファッションショー及び試着会

一般会員、指導者対象にと色々な実施形態あり

- |   |   |                         |
|---|---|-------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 7 地区 43 回 1,704 名</li> <li>・ 42 支部 280 回 13,223 名</li> </ul> | } | 合計 323 回参加者 14,927 名で開催 |
|---|---|-------------------------|

平成 24 年度 賃貸事業報告  
(平成 24 年 5 月～平成 24 年 12 月)

・その他、この法人の目的達成の為に必要な事業(第 4 条 第 1 項 7 号)

- ① 3 B 体操会館の 4 階と 1 階、5 階の半分を(株)テル子コーポレーションに継続賃貸する

平成 24 年度 3 B 保険取りまとめ事業報告  
(平成 24 年 5 月～平成 24 年 12 月)

・その他、この法人の目的達成の為に必要な事業(第 4 条 第 1 項 7 号)

- ① 3 B 体操を實踐中及び会場への往復途上中に起こる傷害事故に対応する補償制度と指導者において法律上の損害賠償責任が発生した事故に対応する保険の取りまとめ業務を行う

【業務内容】

- ・ 3 B 体操傷害補償制度、3 B 体操賠償責任保険の加入申込受付と 3 B 保険取扱い  
代理店への団体加入申込

【平成 24 年 5 月～12 月までの保険加入状況】

通常 3 B 保険は、毎年 4 月 1 日～翌年 3 月末までの契約である。

指導者賠償責任保険は毎年 11 月 1 日～翌年 10 月末までの契約である。

但し中途加入は毎月生じている。

5 月～12 月

対象	保険種類	加入件数	補償制度料	補償制度料計	備 考
受講者 他	A 保険	4,545	月額 100 円	3,924,000	月 3 回以上
	B 保険	4,425	月額 50 円	1,908,200	月 2 回以下
	臨時保険	100,316	1 回 9 円	902,844	3 ヶ月以内の臨時教室 ・講習会等
	宿泊保険	1,221	1 泊 2 日 1 名 220 円～	256,928	宿泊数、人数により 金額変更あり
	ベビー保険	544	月額 50～100 円	133,200	
指導者	指導者保険	225	月額 270 円	389,120	新指導者は受講者期間に かけていた補償制度料の 残額を充当している
	賠償責任保険	2,866	月額 150 円	5,026,950	
	合 計	114,142		12,541,242	

なお、当事業は協会で行きとめを行う為、毎年 12 月末時点での保険加入の総件数・総補償制度料に対して、翌月 1 月には割引の還付を受けることとなる。

3 B 保険引受は三井住友海上火災保険株式会社の代理店である有限会社中央代行が行っている。

・ 事故報告受付と 3 B 保険取扱い代理店への連絡確認等

【事故と保険会社からの保険金支払い状況（5 月～12 月）】

受講生保険 事故件数 45 件 支払保険金 合計 2,328,250 円

年代	～10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代
件数	7	0	4	2	7	10	13	2

指導者保険 事故件数 25 件 支払保険金 合計 981,250 円

年代	～20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代
件数	0	1	1	11	11	1	0

・ 事故報告に基づく事故防止の広報と宣伝

詳細は「3 B 体操受講生傷害保険事故一覧」「3 B 体操指導者傷害保険事故一覧」参照

受講生傷害保険の事故件数 45 件のうち、レッスン中のケガが 20 件。

レッスンの準備や片付け中の時間や往復途上での事故が 25 件。

指導者が事故例を認識する事が何より事故防止につながる。

平成 24 年度 法人会計 (平成 24 年 5 月～平成 24 年 12 月)
---

① 理事会

大阪市都島区 3 B 体操会館にて実施

7 月 3 日 (火) 出席者 13 名

12 月 4 日 (火) 出席者 13 名

② 社員総会

大阪市都島区 3 B 体操会館にて実施

7 月 4 日 (水) 出席者 70 名

12 月 5 日 (水) 出席者 79 名

③ 3 B 体操会館の維持管理

## 2 重要な契約に関する事項

該当なし

## 3 役員会等に関する事項（理事会・社員総会等）

### 第1回 臨時理事会

- 日 時 平成 24 年 7 月 3 日（火） 10：00 ～ 12：30
- 議 題
1. 第 10 期(平成 24 年)1 月～4 月 事業報告(案)
  2. 第 10 期(平成 24 年)1 月～4 月 収支決算(案)
  3. 第 1 期(平成 24 年)5 月～12 月 事業計画(案)
  4. 第 1 期(平成 24 年)5 月～12 月 収支予算(案)
  5. 役員人事について
  6. 役員報酬規程変更について

### 第2回 臨時理事会

- 日 時 平成 24 年 12 月 4 日（火） 10：00 ～ 12：00
- 議 題
1. 役員人事について
  2. 第 2 期（平成 25 年）事業計画(案)
  3. 役員退職慰労金について
  4. 第 2 期（平成 25 年）収支予算(案)
  5. 定款施行規則変更案
  6. 北東北地区建設資金について

### 第3回 臨時理事会

- 日 時 平成 24 年 12 月 5 日(水) 14：15 ～ 14：20
- 議 題
1. 役員人事について

### 第1回 臨時社員総会

- 日 時 平成 24 年 7 月 4 日（水） 10：30 ～ 15：00
- 議 題
1. 第 10 期(平成 24 年)1 月～4 月 事業報告(案)
  2. 第 10 期(平成 24 年)1 月～4 月 収支決算(案)
  3. 第 1 期(平成 24 年) 5 月～12 月 事業計画(案)
  4. 第 1 期(平成 24 年) 5 月～12 月 収支予算(案)
  5. 役員人事について
  6. 役員報酬規程変更について

## 第2回 臨時社員総会

日 時 平成 24 年 12 月 5 日 (水) 9 : 00 ~ 13 : 30

- 議 題
1. 役員人事について
  2. 第 2 期(平成 25 年) 事業計画(案)
  3. 役員退職慰労金について
  4. 第 2 期(平成 25 年) 収支予算(案)
  5. 定款施行規則変更案
  6. 北東北地区建設資金について

### 4 収支及び正味財産増減の状況並びに財産の状態の推移 (全国本部)

単位：百万円

事業年度	20 年	21 年	22 年	23 年	24 年	24 年
	12 月期	12 月期	12 月期	12 月期	4 月期	12 月期
前期繰越 収支差額	314	213	266	(※) 274	141	274
当期収入 合 計	294	1,269	336	1,354	353	175
当期支出 合 計	395	1,216	399	1,487	220	350
当期支出 差 額	△101	53	△63	△133	133	△175
次期繰越 収支差額	213	266	203	141	274	99
資産合計	964	1,004	986	949	969	1,122
負債合計	84	93	87	111	64	237
正味財産	880	911	899	838	905	885

(※) 前期よりの収支差額の違算の原因は、弔慰預り金を流動負債より固定負債に変更した為

### Ⅲ 法人の課題

該当なし

### Ⅳ 決算期後に生じた法人の状況に関する重要な事項

該当なし